

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成23年度分）

団体名：宇治市

プロジェクト名	環境に配慮した安全・安心のまちづくりプロジェクト		実施期間	H23～H25	テーマ	まちの安心・安全	新規・継続の区分	新規
地域における現状、課題及び住民ニーズ	<ul style="list-style-type: none"> ・温室効果ガス削減のためには、これまでの快適なライフスタイルを大きく見直すとともに、大量生産・大量消費型の社会経済活動や生活様式を転換することが喫緊の課題であり、市自らが率先行動を行うことによって、本市全体で地球環境対策に取り組む気運を醸成することが必要である。 ・安全・安心なまちづくりを推進する観点から、防犯に関しても対策が重要であり、今後も、市民・事業者と行政・関係機関が連携して防犯に取り組む必要がある。 ・増加する救急需要への対応と救命率の向上を図るため、システムや救急体制の高度化が必要である。 							
プロジェクトの目的及び概要	環境に配慮した安全・安心のまちづくりを目指し、地球環境対策の推進、ごみ・し尿の適正処理の推進、消防・救急の充実、行政サービスの充実などを図るため、各種事業を実施する。							
	総事業費（千円）	275,451	本年度事業費（千円）	275,451	交付金額（千円）	10,912		
プロジェクトを構成する事業の平成23年度事業実績（出来高数値等）								
事業分類	事業名	事業種別	事業概要			主な実績（出来高数値等）		
市町村実施事業	庁舎温室効果ガス削減対策事業費	交付対象事業	温室効果ガス削減を目指し、庁舎における排出量の削減を図る。			照明設備の交換を実施		
	清掃車両維持管理費	交付対象事業	清掃車両の維持管理及び更新を行う。			ハイブリッド塵芥車2台・4tプレス1台・軽ダンプ車3台購入		
	消防通信指令システム整備費	交付対象事業	消防通信施設の維持管理及び充実、整備を行う。			位置情報システム、自動出動指定装置、出動車両運用管理装置の整備		
	AED整備費	交付対象事業	市内公共施設にAEDを設置、整備し、市民の救命率の向上を図る。			市内公共施設76カ所のAED維持管理		
	公用車購入費	交付対象事業	安全で効率的な自動車運行の確保及び車両の適正配置を実施する。			電気自動車1台購入		
住民協働事業	地球温暖化対策推進事業費	交付対象事業	市民・事業者に対して効果的な取組の普及啓発、温室効果ガス削減運動の推進などを実施する。			宇治環境フェスタの開催（来場者数約700人）		
	緑のカーテン推進事業費	交付対象事業	市民・事業者向けに、緑のカーテン等の普及を啓発・推進する。			市庁舎、小学校（12校）、幼稚園（4園）、保育所（7所）、その他公共施設（13施設）、3商店街で実施		
	安全・安心まちづくり推進事業費	交付対象事業	地域における犯罪の発生を未然に防止するため、安全・安心なまちづくりの取組を展開する。			防犯講演会、宇治市子どもの安全な生活を守るネットワーク会議を開催		
	防災対策推進事業費	交付対象事業	地域の自主防災組織の育成や、市民参加の防災訓練を実施する。			市民参加の防災訓練の実施（参加者約800人）		
住民が取り組む事業	地域の水利用の再生事業	関連事業	地域の水利用の可能性を探り、地下水や井戸の災害時の利活用について水環境を整備し市民が憩える場とするための調査研究を行い、また身近な川に親しむためにフィールドワークを実施し、市民の関心を高める活動を実施する			地域の水利用の調査研究、市民の関心を高める活動を実施した。		

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成23年度分）

団体名：宇治市

成果指標	成果指標の目標数値	宇治市域から排出される温室効果ガスの削減目標 平成2年度90.2万t-CO2 平成24年度81.2万t-CO2		成果指標の実績値	平成22年度 84.7万t-CO2	
	成果指標の達成状況	-	(左の理由)	目標年度に達していないため		
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)		(時期)	
成果指標	成果指標の目標数値	宇治市の事務・事業から排出される温室効果ガスの削減目標（排出量の目標値） 平成2年度13,784t-CO2 平成24年度12,406t-CO2		成果指標の実績値	平成23年度 13,529t-CO2	
	成果指標の達成状況	-	(左の理由)	目標年度に達していないため		
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)		(時期)	
本年度の事業実績が成果指標の達成に与えた効果	目標到達のため、今後も継続して事業を行っていく。					
未達成の場合も効果を記載すること	未達成の場合は、成果指標の達成に向けた今後の対応方策についても記載すること。					
本プロジェクトに対する自己評価	関連事業との連携効果					
	府と市町村等との連携に資する成果	宇治市安全・安心まちづくり推進会議において、情報の共有化を行い連携した活動を行うことができた。				
	住民の自治意識を高める成果	住民を対象にした啓発活動により住民の自主的な防犯活動を促すことができた。 AEDの設置に伴い、広く市民に応急手当の知識や救護意識の高揚が図れた。				
	リーディング・モデル成果	緑のカーテンを設置した世帯においては、冷房の使用頻度が減ることで、市域内の温暖化効果ガスの排出、抑制に寄与した。				
	広域的波及成果	宇治市安全・安心まちづくり推進会議において、各地域での活動などの事例を共有しており、好事例をそれぞれの地域に持ち帰って、より進んだ活動に生かすことができた。				

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成23年度分）

団体名：宇治市

	行財政改革に資する成果	
	その他の成果	

（記載要領）

- 1 プロジェクトごとに本様式を作成し、評価すること。
- 2 記載欄が不足する場合は、適宜追加すること。
- 3 事業種別については、交付対象事業又は関連事業の別を記載すること。
- 4 成果指標の達成状況は、目標数値を上回ったときは、目標数値の近似値であるときは、目標数値を下回ったときは、判断できないときは を記載すること。

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成23年度分）

団体名：宇治市

プロジェクト名	ゆたかな市民生活ができるまちづくりプロジェクト		実施期間	H23～H25	テーマ	地域産業の育成	新規・継続の区分	新規
地域における現状、課題及び住民ニーズ	<p>・宇治茶は本市の象徴であり、全国に誇る銘茶の代名詞ともなっているが、全体として緑茶の需要が増えてきているものの、外国産茶葉の輸入や国内産地間競争の激化など、宇治茶を取り巻く状況は厳しいものがある。今後も、宇治茶の伝統と名声を保持するため、伝統的な茶製法の継承を図るとともに、生産量の拡大と生産体制の強化、品質の向上や消費の拡大など積極的な取組みが必要である。</p> <p>・いわゆる買い物難民と呼ばれる買い物弱者が増えているなかで、地元商店街の果たす役割は大きいものと考えられるが、一方で商店街の空き店舗の増加や後継者不足による商店街の衰退が課題となっている。消費者ニーズの多様化がより一層進行していることから、多様化する消費者ニーズに対応した魅力ある商店・商店街づくりに努める必要がある。</p> <p>・工業振興は、産学官連携とともに、低炭素・循環型社会や安全・安心社会への対応が求められている。このため、地域社会と調和した良好な生産基盤の整備によって、景気動向に左右されにくい業種や規模などのバランスの取れた産業構造の構築を図るとともに、中小企業の近代化・高度化の促進、ベンチャー企業等による新製品の開発、新産業の創出や、優良企業の誘致・育成などを推進していくことが必要である。</p>							
プロジェクトの目的及び概要	ゆたかな市民生活ができるまちづくりを目指し、農・商・工業の振興を図るため、各種事業を実施する。							
	総事業費（千円）	17,922	本年度事業費（千円）	17,922	交付金額（千円）	5,970		
プロジェクトを構成する事業の平成23年度事業実績（出来高数値等）								
事業分類	事業名	事業種別	事業概要			主な実績（出来高数値等）		
市町村 実施事業	中小企業技術開発促進助成事業費	交付対象事業	中小企業者の宇治ブランド化推進の支援を行う。			助成数4社		
	展示会出展支援事業費	交付対象事業	中小企業者が開発する製品の展示会出展支援を行う。			助成数7社		
	高品質茶推進事業補助金	交付対象事業	市内産宇治茶の名声を維持し、さらに高めるために、品質の改善や生産性の向上に繋がる幅広い対策を支援する。			環境にやさしい茶生産対策等の実施(61件)		
	茶・茶園品評会出品奨励費	交付対象事業	市内産宇治茶の品質向上を図るため、品評会への出品及び入賞の奨励金の交付等を行う。			出品点数 100点 入賞点数 39点		
住民 協働 事業	中小企業育成支援事業費	交付対象事業	中小企業者の人材育成の支援を行う。			助成数7社		
	空き店舗活用支援事業	交付対象事業	商店街等が行う空き店舗活用支援を行う。			助成件数3件		
	中小企業振興対策事業費	交付対象事業	商店街等が行う活性化事業等に対する支援を行う。			助成件数19件		
住民が 取り組む 事業	宇治市内の商店街の現状を発信する事業	関連事業	宇治市内の商店街振興のため、従来の情報誌の発行に加えて、商店街に実際に足を運んでもらうために子どもを対象としたスタンプラリーイベントを開催する。また、商店街や宇治市内のイベント情報、観光情報など市内の情報が分かるホームページを作成し、広く情報を発信する。			情報誌の発行やスタンプラリーイベントの開催、観光情報など広く情報を発信した		
成	成果指標の目標数値	茶品評会入賞点数 平成21年度34点 平成25年度増加		成果指標の実績値 (平成24年3月31日時点)		茶品評会入賞点数 39点		

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成23年度分）

団体名：宇治市

果 指 標	成果指標の達成状況	-	（左の理由）	目標年度に達していないため		
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		（理由）		（時期）	
成 果 指 標	成果指標の目標数値	茶品評会出品点数 平成21年度68点 平成25年度増加		成果指標の実績値 （平成24年3月31日時点）	茶品評会出品点数 100点	
	成果指標の達成状況	-	（左の理由）	目標年度に達していないため		
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		（左の理由）		（時期）	
本年度の事業実績が 成果指標の達成に与えた効果	目標到達のため、今後も継続して事業を行っていく。					
未達成の場合も効果 を記載すること	未達成の場合は、成果指標の達成に向けた今後の対応方針についても記載すること。					
本プロジェクトに 対する自己評価	関連事業との連携効果					
	府と市町村等との連携に資する成果	京都府主催による京都ビジネス交流フェアへの出展（4社）を始め、府・市連携による展示会出展企業への助成を通して、地元産業の振興を図ることができた。				
	住民の自治意識を高める成果	商店街等の取組みを通して、地域住民が地元の名産品や伝統工芸などの良さに関心を持つことができるようになった。また、地元での消費を大きく担っている。				
	リーディング・モデル成果	事業実施団体を空き店舗活用モデルとして、他の商店街等の新たな空き店舗対策の取組みへの波及効果が期待できるようになった。				
	広域的波及成果	空き店舗を大学のサテライトキャンパスや、子育て中の親子広場として活用し、地域と大学を結び情報発信基地として、また働きたい女性や母親への取組みを支援することで、商店街だけでなく、地域の活性化を図ることができた。事業実施団体の取組みが、他の商店街、さらに地域の活性化に波及効果が期待できるようになった。				
	行財政改革に資する成果					
	その他の成果					

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成23年度分）

団体名：宇治市

（記載要領）

- 1 プロジェクトごとに本様式を作成し、評価すること。
- 2 記載欄が不足する場合は、適宜追加すること。
- 3 事業種別については、交付対象事業又は関連事業の別を記載すること。
- 4 成果指標の達成状況は、目標数値を上回ったときは、目標数値の近似値であるときは、目標数値を下回ったときは、判断できないときは を記載すること。

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成23年度分）

団体名：宇治市

プロジェクト名	健康でいきいきと暮らせるまちづくりプロジェクト		実施期間	H23～H25	テーマ	少子・高齢化	新規・継続の区分	新規
地域における現状、課題及び住民ニーズ	<ul style="list-style-type: none"> ・多様な福祉ニーズに対応するため、宇治市社会福祉協議会の役割はますます重要となり、より一層の連携や支援体制の充実が必要となっている。 ・安心して子どもを産み育てられる環境整備のため、母親の地域での居場所づくりや、父親の育児参加を進めるなどの取組みが必要である。また、地域で安心して子育てができ、子どもが健やかに育つ環境づくりを進める必要があり、子育て家庭の生活や就労形態などに対応した利用しやすい多様な保育サービス提供が求められている。 ・子どもから高齢者まで全ての世代が理解し合い、助け合うための事業等を実施することによって、高齢者が尊厳を保って自立した生活を送り、自己の可能性を発現することのできるようなより良い高齢社会を迎えるための施策を推進する必要がある。 							
プロジェクトの目的及び概要	健康でいきいきと暮らせるまちづくりを目指し、地域福祉活動の推進、保健・医療の推進、生きがいづくりの充実、子育て・保育サービスの充実を図るため、各種事業を実施する。							
	総事業費（千円）	42,489	本年度事業費（千円）	42,489	交付金額（千円）	5,546		
プロジェクトを構成する事業の平成23年度事業実績（出来高数値等）								
事業分類	事業名	事業種別	事業概要			主な実績（出来高数値等）		
市町村実施事業	保育所施設整備費	交付対象事業	公立保育所における児童の安全・安心及び良好な保育環境の確保と施設の維持を図る。			駐車場改修、施設改修を実施		
	しあわせ子育て・子育て応援事業費	交付対象事業	子どもの健やかな成長と親が安心して子育てできるよう支援を行う。			子育て情報誌等の配布又は送付を実施(1,452世帯)		
	社会福祉協議会活動助成金	交付対象事業	地域福祉活動の中核である宇治市社会福祉協議会の独自事業及び人件費に対して財政援助を行うことにより、地域福祉の充実強化を図る。			宇治市社会福祉協議会の独自事業及び人件費に対して財政援助を行い、地域福祉の充実強化を図った。		
住民協働事業	親子あそびの教室運営費	交付対象事業	発達面で経過をみていく必要があるとされた子どものフォローの場として、遊びの場を提供し、保護者への指導を行う。			開催数 1クール10回2クラス 1クール10回4クラス 処遇回数 110人		
	絵本ふれあい事業費	交付対象事業	親子がふれあうきっかけづくりとして、3カ月児健康診査受診児と1歳8カ月児健康診査受診児保護者を対象に、絵本の配布を行う。			3カ月児健診配布数 1,590人 1歳8カ月児健診配布数 1,528人		
	輝き支援2015高齢期支援システム創造事業費	交付対象事業	団塊の世代が高齢者となる時期に備えて、高齢期の暮らしや介護に役立つ市民向け講座等を実施する。			各種講座・講演会等 実施回数12回 参加延べ人数1,198人		
住民が取り組む事業	小さな交流から大きなつながりへ...「おうちサロン」のできるこへの挑戦事業	関連事業	「おうちサロン」を拠点として、特に子育て期の女性支援、交流促進や女性の自立支援の一助のために、手作りだっこひも教室等各種の取組を実施。また、幅広い世代が集える場作りも実施する。			各種教室等の取組みを実施した。		
	宇治の子育てネットワークをつくらう事業	関連事業	宇治市内には様々な子育て関連の活動をしている団体があるが、横のつながりが少なく連携しにくい状況にある。そこで、広く団体に呼びかけ、交流会や学習会を開催することでつながりの場を持ち、今後の新しい取組を検討していく。			交流会や学習会を開催し、子育てネットワーク構築の検討を行った。		

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成23年度分）

団体名：宇治市

成果指標	成果指標の目標数値	保育所（通常保育）の利用者数 平成21年度3,395人 平成25年度増加		成果指標の実績値 （平成24年4月1日時点）	利用者数3,776人	
	成果指標の達成状況	-	（左の理由）	目標年度に達していないため		
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期	（理由）		（時期）		
成果指標	成果指標の目標数値	待機児童数 平成22年度174人 平成25年度減少		成果指標の実績値 （平成24年4月1日時点）	待機児童数94人	
	成果指標の達成状況	-	（左の理由）	目標年度に達していないため		
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期	（理由）		（時期）		
本年度の事業実績が 成果指標の達成に与えた効果	目標到達のため、今後も継続して事業を行っていく。					
未達成の場合も効果を記載すること	未達成の場合は、成果指標の達成に向けた今後の対応方策についても記載すること。					
本プロジェクトに対する自己評価	関連事業との連携効果					
	府と市町村等との連携に資する成果	山城地域振興計画「健康長寿の山城づくりの推進」「やましろの地域力再生による地域社会づくり」の中の団塊の世代の健康づくり、地域力再生プロジェクトの推進に向けた取組みに資するものと位置付けている。				
	住民の自治意識を高める成果	当事業の一環として開催したフォークコンサートには市民スタッフを募り、自主的な運営を任せた。自主的に企画、運営を行うことが、社会の主体として行動していく力となり、地域社会の中心になっていくと考える。ボランティア活動の活性化のためのボランティアコーディネーターの設置は、本市住民の自主的な地域福祉活動を推進するために必要な事業である。				
	リーディング・モデル成果	参加者へのアンケートや市民意識調査の分析により、潜在的な将来ニーズを把握しながら新たな事業を生み出していくモデル的な事業といえる。住民が自主的に進めるボランティアを行政が支援していくことを趣旨とする事業で、今後目指すべき住民と行政との協働の推進モデルとなった。				

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成23年度分）

団体名：宇治市

	広域的波及成果	高齢期にさしかかる団塊の世代を始めとする市民の社会参加や地域活動が活発になっていくことで、今後、地域全体さらには市全体の活性化につながっていくことが期待される。 宇治市社会福祉協議会へのボランティアコーディネーター設置を継続することにより本市のボランティア活動が一層活性化することで、隣接する他市町へもその効果の波及につながった。
	行財政改革に資する成果	来たるべき超高齢社会に備えた新しい事業を開発し、団塊の世代の社会参加を促すことで、団塊の世代のニーズに対応した効率的、効果的な新たな施策の展開へつないでいくことができた。 公民の協働による行政運営のために、ボランティアコーディネーターの果たす役割は重要であり、効率的な行財政運営に資する効果があった。
	その他の成果	

（記載要領）

- 1 プロジェクトごとに本様式を作成し、評価すること。
- 2 記載欄が不足する場合は、適宜追加すること。
- 3 事業種別については、交付対象事業又は関連事業の別を記載すること。
- 4 成果指標の達成状況は、目標数値を上回ったときは、目標数値の近似値であるときは、目標数値を下回ったときは、判断できないときは を記載すること。

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成23年度分）

団体名：宇治市

プロジェクト名	生きる力を育む教育の充実と生涯学習の推進のまちづくりプロジェクト		実施期間	H23～H25	テーマ	少子・高齢化	新規・継続の区分	新規
地域における現状、課題及び住民ニーズ	<p>・本市の児童・生徒数は、平成21年5月現在、小学生11,165人、中学生4,910人とピーク時の約60%まで減少しており、今後も緩やかな減少が見込まれる。こうしたなか、全国で様々な教育改革が進められており、本市でも（仮称）第一小中一貫校の整備をはじめ、計画的な施設整備や市民ニーズに応える方策を進める必要がある。</p> <p>・近年、幼児から高齢者まで市民階層にわたって、ストレス・運動不足の解消、健康・体力づくり、家族とのふれあいなど、スポーツ・レクリエーション活動は重要な役割を果たしており、こうした傾向は労働時間の短縮等自由時間の増大と相まって一層の高まりを見せている。</p> <p>・近年の生涯学習の気運の高まりから歴史や文化財への関心も大きくなっており、積極的な情報発信に努めるなど市民の学習ニーズに的確に対応していく必要がある。</p> <p>・戦争を知らない世代が多くなってきている現在、戦争体験を後世へ語り継ぐことが難しくなってきたり、戦争体験が風化してきている状況にある。戦争の恐ろしさ、悲惨さを認識し、後世へ語り継ぐとともに二度と戦争をしない、させない国際社会づくりに取り組むことが必要である。</p>							
プロジェクトの目的及び概要	<p>生きる力を育む教育の充実と生涯学習の推進のまちづくりを目指し、幼稚園、小・中学校教育の充実、学校教育環境の充実、スポーツ・レクリエーションの充実、歴史資料の充実・普及を図るため各種事業を実施する。</p>							
	総事業費（千円）	2,070,900	本年度事業費（千円）	2,070,900	交付金額（千円）	46,979		
プロジェクトを構成する事業の平成23年度事業実績（出来高数値等）								
事業分類	事業名	事業種別	事業概要		主な実績（出来高数値等）			
市町村 実施事業	通学路安全対策事業費	交付対象事業	児童の登校時の同行及び下校時の見守りを行う。		児童への登校時の同行及び下校時の見守りを行った。			
	（仮）第一小中一貫校整備事業費	交付対象事業	小中一貫教育を推進するため、パイロット校として宇治小学校敷地内に施設一体型小中一貫校を整備する。		校舎、第2体育館等の整備を実施			
	源氏物語ミュージアム広報活動費	交付対象事業	源氏物語をテーマとしたまちづくりの中核的役割を担う施設として、来館者の増加を目指して広報宣伝活動を行う。		旅行情報雑誌等、計7誌に広告を掲載			
住民 協働 事業	学校版環境ISO実施事業費	交付対象事業	身近な学校生活の中で環境に配慮した生活態度を実践するため、環境活動について計画、行動、点検、見直しを行う。		園・校内の緑化運動や、ごみの分別など、環境に配慮した学習活動を実施			
	フッ化物洗口事業費	交付対象事業	児童の健全な発育のため、小学校でフッ化物洗口を実施し、虫歯を予防する。		実施児童数 9,813人 実施率 約90% 平均実施回数 13回			
	スポーツ教室開催費	交付対象事業	ニュースポーツの普及とスポーツ教室の実施		ニュースポーツひろば 実施回数22回 参加者延べ835人 レッツニュースポーツ 実施回数12回 参加者延べ556人			
	スポーツ大会開催費	交付対象事業	スポーツ大会の実施		スポーツまつり、ファミリーバドミントン大会等を実施			
	平和のつどい事業費	交付対象事業	平和に関する啓発事業等を行う。		小・中学生長崎平和訪問団派遣、市民平和の集い、市民平和祈念集会の実施			
住民が 取り組む 事業	様々な職業の素晴らしさを体験し学ぶ場所を子ども達に提供する事業	関連事業	小学生親子を対象に普段なかなか経験できない職業体験やプロの指導による工作体験などの、実際に体験できる遊び、を提供することで、仕事の素晴らしさを伝える。そのため、地域の企業や学生等と連携して事業を計画実施する。		地域の企業や学生等と連携して、事業の計画実施を行った。			

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成23年度分）

団体名：宇治市

成果指標	成果指標の目標数値	源氏物語ミュージアム企画展示回数 平成21年度5回 平成25年度6回		成果指標の実績値 (平成24年3月31日時点)	企画展示回数 5回	
	成果指標の達成状況	-	(左の理由)	目標年度に達していないため		
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期	(理由)		(時期)		
成果指標	成果指標の目標数値	源氏物語ミュージアム講座開設数 平成21年度20講座 平成25年度25講座		成果指標の実績値 (平成24年3月31日時点)	講座開設数 24講座	
	成果指標の達成状況	-	(左の理由)	目標年度に達していないため		
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期	(理由)		(時期)		
本年度の事業実績が 成果指標の達成に与えた効果	目標到達のため、今後も継続して事業を行っていく。					
未達成の場合も効果 を記載すること	未達成の場合は、成果指標の達成に向けた今後の対応方針についても記載すること。					
関係事業との連携効果	関連事業との連携効果					
	府と市町村等との連携に資する成果					
	住民の自治意識を高める成果		子どもから高齢者まで多くの市民が参加できる教室・ひろば・大会を開催することで、地域交流の場にもなり、また、交流が深まることで地域が活性化し、自治意識の向上にも寄与している。 平和啓発事業に参加することで、市民自らが平和に対する強い思いと意識を高めることができる。			
	リーディング・モデル成果		スポーツ振興計画に基づく、スポーツ実施率を向上させる諸取組みの中核事業であり、スポーツの普及がさらに進み、健康づくり、生きがいづくりにも寄与し、明るく活力あるまちづくりに大きな役割を果たすとともに、豊かなスポーツライフの実現に寄与する。			

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成23年度分）

団体名：宇治市

本プロジェクトに対する自己評価	広域的波及成果	<p>全国に「源氏物語のまち」としての宇治の名を発信することができた。 全国的に広く販売される観光・旅行雑誌に当館の広告を掲載することにより、本市における源氏物語のまちづくりを全国にPRすることができた。 新たな参加者が増えていくことで、市のスポーツ人口が増加している。また、スポーツをする場所の提供にとどまらず、情報提供の場所、次にスポーツを行う機会の確保につながった。 大会を実施することで目標ができ、普段からスポーツを実施する習慣が身に付く。 事業に参加し、経験したり感じたりした内容を、家庭や学校、地域などで話すことにより、平和の大切さが伝えられた。</p>
	行財政改革に資する成果	<p>スポーツ実施率の向上を図り、ストレスや運動不足による成人の生活習慣病などの予防等や子どもの肥満予防など子どもに関わる健全な発育・発達を支える体力・運動機能を確保し、医療費等の抑制につなげる。</p>
	その他の成果	<p>通学支援員の配置により、児童を安全に通学させることができるとともに、通学区域の変更に伴う通学面での保護者・児童の不安を緩和できた。 全国の方に「源氏物語のまち宇治」を知ってもらうことにより、宇治への来訪者の増加が図られた。 観光産業への波及効果など、地域の活性化が図られる。</p>

（記載要領）

- 1 プロジェクトごとに本様式を作成し、評価すること。
- 2 記載欄が不足する場合は、適宜追加すること。
- 3 事業種別については、交付対象事業又は関連事業の別を記載すること。
- 4 成果指標の達成状況は、目標数値を上回ったときは、目標数値の近似値であるときは、目標数値を下回ったときは、判断できないときは を記載すること。

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成23年度分）

団体名：宇治市

プロジェクト名	歴史香るみどりゆたかで快適なまちづくりプロジェクト		実施期間	H23～H25	テーマ	歴史・文化	新規・継続の区分	新規
地域における現状、課題及び住民ニーズ	<p>・本市では、市域の7割以上が緑で占められており、市全体としては緑が豊かに残っているが、そのほとんどは東部の山麓丘陵地にある。このため、市街地の緑化は特に重要であり、市街地等における緑地面積や都市公園等の整備面積を増加させるため、緑化活動への市民協働・市民参画につながる事業を継続して実施し、花と緑あふれる地域環境の創出に努める必要がある。また、公園内に花壇を作り、花苗の植え替え等の管理については地元自治会やボランティアなどの協力を得て、さらなる公園の環境美化に努める必要がある。</p> <p>・良好な都市景観の形成は、行政主体の施策により実現できるものではなく、地域住民の主体的な取組みや理解を進めることが重要であることから、住民がまちづくりへ参加できる取組みを推進しており、今後もこうした活動が景観への関心や意識を高める活動として定着するよう、周知を進めていく必要がある。</p>							
プロジェクトの目的及び概要	<p>歴史香るみどりゆたかで快適なまちづくりを目指し、みどりの保全・緑化の推進、公園・緑地の有効活用、都市景観の形成、歴史と調和したまちづくり、交通安全とバリアフリーの推進、良好な市街地の形成を図るため、各種事業を実施する。</p>							
	総事業費（千円）	86,599	本年度事業費（千円）	86,599	交付金額（千円）	40,351		
プロジェクトを構成する事業の平成23年度事業実績（出来高数値等）								
事業分類	事業名	事業種別	事業概要			主な実績（出来高数値等）		
市町村 実施事業	緑化啓発費	交付対象事業	市民のみどり思想の高揚を図るため、春・秋を中心に啓発事業を展開する。			春 みどりの月間、花と緑のキャンペーン 秋 緑化フェア		
	源氏ゆめほたる事業費	交付対象事業	植物公園内で蛍が棲息・繁殖可能な環境設備を行い、蛍観賞の場を提供することで、市民生活に憩いと安らぎを与える。			夜間入園者数15,192人		
	街区公園整備事業	交付対象事業	多様な利用者のニーズに応え、すべての利用者がより円滑に利用できるよう公園施設の整備を行う。			街区公園整備工事の実施(12公園)		
	街灯設置保全事業費	交付対象事業	街灯の新設及び既設街灯の球交換等維持管理を行う。			街灯の新設及び維持管理を実施		
	自転車放置防止対策費	交付対象事業	駅周辺の自転車放置禁止区域内に放置されている自転車を定期的に撤去し、歩行者等の安全確保等を図る。			撤去台数 1,217台 売却台数 470台 返還台数 480台		
	排水路改良事業費	交付対象事業	災害に強く安全で快適な生活環境を確保するため、市街地等における浸水対策を実施する。			横島町目川地区、広野町丸山等の排水路改良工事を実施		
住民 協働事業	みどりのボランティア推進事業費	交付対象事業	都市の緑化・美化を市民との協働で進めるため、緑化リーダーとなるボランティアを養成し、その活動を支援する。			緑のボランティア養成講座の実施 ボランティア登録数 65名		
	まちかどふれあい花だん推進事業費	交付対象事業	地域緑化の推進のため、道路敷等の公的空間を個人や団体等に提供し、花や木を植えて花壇化する。			地域の緑化活動をしているボランティア団体等に、花苗・肥料等の支給を行った。		
	公園花だん整備費	交付対象事業	地域緑化活動をボランティアに依頼するため、道路敷、公園等に花壇を設置する。			公園花壇整備工事の実施(2公園)		
	交通指導員設置費	交付対象事業	通学路で必要な横断歩道において誘導等の必要な措置を講ずるため、交通指導員を設置する。			通学路への交通指導員を設置		
	まちづくり活動支援事業費	交付対象事業	市民が主役のまちづくりを積極的に推進するため、まちづくり地域セミナー等を開催し、地区まちづくり計画の作成を促す。			まちづくり地域セミナーの開催(市内4カ所) まちづくり塾の開催(全5回) 地区まちづくり計画の認定(1件)		

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成23年度分）

団体名：宇治市

	都市景観形成対策費	交付対象事業	良好なまちなみ形成を図るため、景観アドバイザーによる相談や重点区域における修景助成を行う。	景観形成助成 建築物1件 屋外広告物の設置2件	
	文化的景観保護推進事業費	交付対象事業	重要文化的景観区域の活用・拡大を行う。	文化的景観フォーラム2012「太閤堤と茶どころ宇治」 参加者数 203人	
住民が 取り組む 事業	連続講座「木津川・宇治川沿いの屋並みを巡る」2事業	関連事業	地域の文化遺産を調査しまた地域に残る文献を検討し新たな観光資源の開発を目指して、歴史講座や現地見学会を開催し、それを基にしてマップ作成を行う。	歴史講座や現地見学会を開催し、マップ作成を行った。	
成果 指標	成果指標の目標数値	植物公園入園者数 平成21年度114,527人 平成25年度増加		成果指標の実績値 (平成24年3月31日時点)	入園者数96,807人
	成果指標の達成状況	-	(左の理由)	目標年度に達していないため	
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)		(時期)
成果 指標	成果指標の目標数値			成果指標の実績値	
	成果指標の達成状況		(左の理由)		
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)		(時期)
本年度の事業実績が 成果指標の達成に与えた効果	目標到達のため、今後も継続して事業を行っていく。				
未達成の場合も効果を記載すること	未達成の場合は、成果指標の達成に向けた今後の対応方策についても記載すること。				
本プロジェクトに 対する自己評価	関連事業との連携効果				
	府と市町村等との連携に資する成果				
	住民の自治意識を高める成果	放置自転車をなくすことにより、バリアフリー意識を高めるとともに、啓発看板の設置により住民の意識の向上を図り、撤去台数の減少につながった。			
	リーディング・モデル成果	都市の緑化及び美化を進めるための緑化リーダーとなるボランティアの養成や、その活動を支援することにより、緑化・美化の推進につながる。			

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成23年度分）

団体名：宇治市

	広域的波及成果	
	行財政改革に資する成果	定期的な自転車撤去を行い、撤去した自転車については、売却して有効活用した。
	その他の成果	自転車マナーの向上になり、安全な歩行者空間の確保による安心な地域づくりを図ることができた。

（記載要領）

- 1 プロジェクトごとに本様式を作成し、評価すること。
- 2 記載欄が不足する場合は、適宜追加すること。
- 3 事業種別については、交付対象事業又は関連事業の別を記載すること。
- 4 成果指標の達成状況は、目標数値を上回ったときは、目標数値の近似値であるときは、目標数値を下回ったときは、判断できないときは を記載すること。